



庄内赤川

S H O N A I - A K A G A W A



謹
賀
新
年

第 **22** 号
広報

平成31年 新年号

紅葉の大鳥水門 平成30年10月撮影

幻の魚タキタロウが棲むといわれる大鳥池は、夏場の貴重な水がめとしての役割を担っています。

主な内容

- 平成30年度第1回臨時総代会開催 2
- 平成29年度収支決算関係 3
- 役員研修を実施 6
- 国営農業水利事業及び関連事業に関する要請活動 7
- 収穫感謝祭を開催 8
- お知らせ 9
- 大山上池・下池がラムサール条約登録湿地10周年を迎えました ... 10
- 庄内赤川土地改良区役員補欠選挙について 10

受益面積：11,325.3 ha
組合員数：4,799 人

発行所：鶴岡市馬場町7番35号
庄内赤川土地改良区

編集者：総務課 総務係

U R L : <http://www.shonaiakagawa.jp>

E-mail : info@shonaiakagawa.jp

新年のご挨拶

平成31年の年頭にあたり謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は組合員の皆様、また関係各方面の皆様方より一方ならぬご理解とご支援を賜りましたことに役職員一同心より感謝申し上げます。

また、私ごとになりますが、昨年6月より当土地改良区の理事長を仰せつかることとなりました。今後はこれまで以上に執行部はもとより役職員が一丸となり、山積する課題に取り組むべく、その責任の重さを自覚し身を引き締めて臨む所存でありますので、何卒ご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年は全国的に猛暑と日照り、そして局地的な豪雨が際立った年でありました。7月初めには、梅雨前線と台風の影響による集中豪雨が西日本を襲い甚大な被害をもたらしました。本区管内におきましても8月の出穂時期を迎える直前まで雨が降らず、まさに渇水という中で8月5日、6日に記録的な大雨に見舞われ、さらに8月16日、30日、31日と度重なる局地的なゲリラ豪雨に襲われました。これまでに例を見ない予想外の雨量を受け、農地や農業用施設における土砂災害や冠水といった被害を受けた地区も多くありました。近年は農業農村整備事業においても防災減災事業が推進されており、我々土地改良区としても補助事業を積極的に活用し、農村地域の防災力の向上を図り、災害に強い農村づくりを目指して行かなければならないと考えております。

本区管内における事業の状況といたしましては、国営赤川二期事業による基幹水利施設の更新が進む中、新規圃場整備事業に加え、既存の水利施設の再整備を行う地区など、今後、事業の要望も急激に増加していくものと思われまます。今後も、国や県に対して地域の現状をしっかりと伝え、そして、予算確保について根気強く訴えながら、また改良区としても、多くの事業に対応できるよう、人材確保や職員の技術力の向上など事務局体制の強化も図りながら、迅速かつ丁寧に対応していかなければならないと考えております。

今後も組合員皆様のニーズを的確に捉えその負託に応えられるよう役職員一丸となり改良区運営に努めて参る所存でありますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

まもなく平成も終わりを迎え新しい時代が幕を開けようとしておりますが、どうか皆様のご多幸とご健康、そして事故災害のない明るい一年となりますよう心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

庄内赤川土地改良区

理事長 本間 松弥



平成30年度 第1回臨時総代会開催

平成30年9月5日、東京第一ホテル鶴岡に於いて第1回臨時総代会が開催されました。総代現数60名中57名出席のもと、議長に小池 和幸総代（第4選挙区・寺田）、副議長に菅原 正喜総代（第7選挙区・小尺）を選出し、次の事項を慎重審議した結果、原案通り可決されました。

・付議事項

- | | |
|-------|---|
| 承認第1号 | 平成29年度庄内赤川土地改良区収入支出決算書、財産目録及び事業報告書の承認について |
| 議第1号 | 物品・契約規程の一部改正について |
| 議第2号 | 平成30年度（特別会計）天保大川地区共通事業費収入支出第1回補正予算 |
| 議第3号 | 平成30年度（特別会計）八沢川地区共通事業費収入支出第1回補正予算 |
| 議第4号 | 平成30年度（特別会計）広野地区事業費支出第1回補正予算 |

・報告事項

- 監報告第1号 平成30年度第1回定例監査報告



議長：小池 和幸 総代 副議長：菅原 正喜 総代



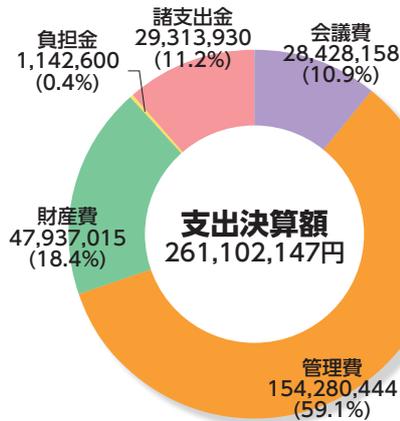
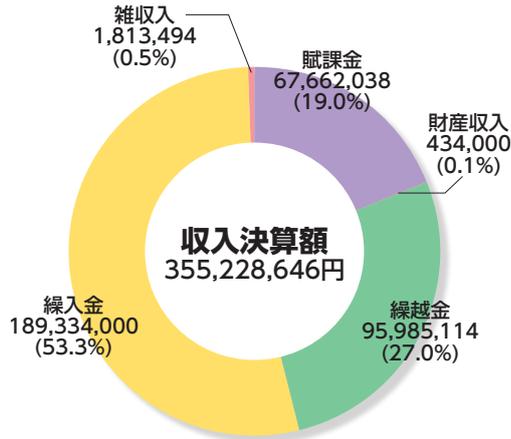
臨時総代会の様子

平成29年度 収支決算関係

一般会計

■ 収入 (単位：円・%)

科目	決算額	割合	
賦課金	67,662,038	19.0%	
財産収入	434,000	0.1%	
繰越金	95,985,114	27.0%	
繰入金 (各特別会計から事務費繰入)	青龍寺川共通	43,388,000	-
	中川共通	35,532,000	-
	天保大川共通	17,052,000	-
	八沢川共通	16,564,000	-
	県営赤川	12,728,000	-
	鶴岡西部	8,984,000	-
	押切	1,616,000	-
	広野	2,948,000	-
	大泉	386,000	-
	東郷堰	2,984,000	-
	県営たらのきだい	100,000	-
	赤川共同管理	46,692,000	-
	農地維持	360,000	-
	小計	189,334,000	53.3%
雑収入	1,813,494	0.5%	
収入合計	355,228,646	100.0%	



■ 支出 (単位：円・%)

科目	決算額	割合	
会議費	総代会費	8,564,457	-
	役員会費	19,863,701	-
	委員会費	0	-
	小計	28,428,158	10.9%
管理費	事務費	118,382,452	-
	事業推進費	7,974,657	-
	運営費	27,923,335	-
	小計	154,280,444	59.1%
選挙費	0	-	
財産費	土地建物維持費	9,187,015	-
	退職給与金	12,000,000	-
	積立金	26,750,000	-
	土地購入造成費	0	-
小計	47,937,015	18.4%	
繰入金	0	-	
負債金	1,142,600	0.4%	
諸支出金	公金取扱費	3,618,830	-
	公的負担金等	25,695,100	-
	小計	29,313,930	11.2%
支出合計	261,102,147	100.0%	

特別会計 差引残高は各会計別に平成30年度へ繰越

(単位：円)

会計区分	予算額	収入決算額	支出決算額	差引残高
青龍寺川地区共通事業費	152,477,000	153,650,003	138,734,541	14,915,462
中川地区共通事業費	122,061,000	128,390,867	112,449,824	15,941,043
天保大川地区共通事業費	111,253,000	123,299,773	96,871,502	26,428,271
八沢川地区共通事業費	113,768,000	119,536,220	92,804,344	26,731,876
団体営土地改良事業費	7,368,000	7,153,787	5,197,450	1,956,337
県営赤川圃場整備事業費	135,473,000	139,401,978	110,450,582	28,951,396
鶴岡西部県営圃場整備事業費	158,554,000	168,575,152	133,855,152	34,720,000
押切地区事業費	59,971,000	61,066,503	46,772,020	14,294,483
広野地区事業費	159,250,000	101,478,627	93,636,658	7,841,969
大泉地区維持管理事業費	7,915,000	9,482,620	3,102,060	6,380,560
東郷堰地区維持管理事業費	49,238,000	54,251,791	42,665,490	11,586,301
県営たらのきだい地区圃場整備事業費	29,166,000	5,503,295	4,272,595	1,230,700
赤川地区小水力発電事業費	36,001,000	34,848,363	32,499,794	2,348,569
赤川地区共同管理費	119,350,000	131,593,431	107,764,497	23,828,934
農地維持受託事業費	4,850,000	4,865,400	4,810,000	55,400
地区除外決済金	644,564,000	647,928,479	7,000,000	640,928,479
職員退職給与資金	70,480,000	70,558,497	2,979,252	67,579,245
財政調整積立金	1,632,258,000	1,635,147,572	29,983,000	1,605,164,572
総代役員退任慰労金	3,031,000	3,051,450	0	3,051,450
合計	3,617,028,000	3,599,783,808	1,065,848,761	2,533,935,047

平成29年度 財産状況

(単位：円)

科 目	一般会計		特別会計		合 計			
	本年度決算額	前年度比	本年度決算額	前年度比	本年度決算額	前年度比		
流動資産	現金及び預金	94,126,499	△ 1,858,615	217,211,301	△ 21,587,723	311,337,800	△ 23,446,338	
	未 収 金	3,037,154	9,484	46,007,388	△ 823,087	49,044,542	△ 813,603	
	特定資産	有価証券及び出資金	0	0	6,249,500	0	6,249,500	0
		積 立 金	149,153,963	27,834,429	2,167,569,783	82,779,470	2,316,723,746	110,613,899
固定資産	土 地	39,827,835	△ 268,708	37,383,979	△ 2,577,469	77,211,814	△ 2,846,177	
	建 物	78,873,551	0	32,162,151	△ 1,064,833	111,035,702	△ 1,064,833	
	器具及び備品	30,916,467	2,495,432	0	0	30,916,467	2,495,432	
資 産 合 計	395,935,469	28,212,022	2,506,584,102	56,726,358	2,902,519,571	84,938,380		
長期負債	天保大川地区	-	-	57,515,700	△ 13,300,012	57,515,700	△ 13,300,012	
	団 体 営	-	-	15,186,997	△ 5,007,052	15,186,997	△ 5,007,052	
	鶴岡西部地区	-	-	5,570,000	△ 12,750,000	5,570,000	△ 12,750,000	
	東郷堰地区	-	-	7,033,237	△ 1,399,590	7,033,237	△ 1,399,590	
	広野地区	-	-	276,810,000	60,000,000	276,810,000	60,000,000	
	県営たらのきだい地区	-	-	54,085,600	1,800,000	54,085,600	1,800,000	
短期負債	引当金・積立金	地区除外決済金	25,892,036	964,128	615,036,443	△ 1,078,743	640,928,479	△ 114,615
		職員退職給与資金	-	-	67,579,245	9,076,306	67,579,245	9,076,306
		財政調整積立金	123,261,927	26,870,301	1,481,902,645	72,251,862	1,605,164,572	99,122,163
		総代役員退任慰労金	-	-	3,051,450	2,530,045	3,051,450	2,530,045
負 債 合 計	149,153,963	27,834,429	2,583,771,317	112,122,816	2,732,925,280	139,957,245		

平成29年度 事業報告

①地区及び組合員の状況

会計別	29年度末地積(ha)	前年度比(ha)	関係組合員(人)	会計別	29年度末地積(ha)	前年度比(ha)	関係組合員(人)
一般会計	11,325	△ 6.2	4,799	鶴岡西部	2,138	0.1	934
青龍寺川共通	4,760	△ 3.3	1,873	押切地区	525	△ 1.3	326
中川共通	3,556	△ 2.5	1,703	広野地区	816	△ 0.1	530
天保大川共通	1,366	△ 0.3	708	大泉地区	900	0.2	380
八沢川共通	1,327	△ 0.1	481	東郷堰地区	718	0.0	252
団 体 営	48	△ 0.1	30	県営たらのきだい	27	0.0	28
県 営 赤 川	3,933	△ 1.9	1,629				

②事業の実施状況

事業名	地区数(会計別)	実施件数	事業費(円)	補助率	主な事業内容
土地改良施設維持管理適正化事業	3会計	4件	27,850,000	60%	揚水機場・用水路
農業基盤整備促進事業	7会計	10件	36,279,000	59% (鶴岡) 54% (三川)	揚水機場・用水路・排水路・パイプラインほか
受 託 業 務	4会計	8件	31,267,780	-	赤川頭首工・幹線用水路・排水機場管理ほか
農道管理業務受託事業	6会計	8件	20,627,428	-	農道補修・敷砂利ほか

③会議の開催状況

区 分	総 代 会	理 事 会	監 事 会	理事協議会	委 員 会	定例監査
回 数	2回	11回	6回	2回	-	2回

④賦課金の納入状況

(単位：円)

賦 課 区 分	平 成 29 年 度				過 年 度		
	調 定 額	納 入 額	未 納 額	徴収率	調 定 額	納 入 額	未 納 額
一 般 会 計	67,969,070	67,662,038	307,032	99.5%	3,027,670	297,548	2,730,122
青龍寺川共通	97,069,517	96,673,967	395,550	99.6%	2,895,590	286,210	2,609,380
中 川 共 通	92,514,041	91,841,834	672,207	99.3%	5,998,604	564,623	5,433,981
天保大川共通	84,690,301	83,816,538	873,763	99.0%	21,980,899	2,139,672	19,841,227
八 沢 川 共 通	61,786,225	61,711,031	75,194	99.9%	417,448	26,040	391,408
団 体 営	5,259,906	4,971,810	288,096	94.5%	199,477	0	199,477
県 営 赤 川	72,747,028	72,169,226	577,802	99.2%	4,795,145	395,576	4,399,569
鶴 岡 西 部	103,951,604	103,466,323	485,281	99.5%	7,570,754	527,548	7,043,206
押 切 地 区	25,747,543	25,743,919	3,624	100.0%	993,646	213,690	779,956
広 野 地 区	26,553,511	26,510,300	43,211	99.8%	1,246,113	66,945	1,179,168
大 泉 地 区	3,671,116	3,651,248	19,868	99.5%	107,061	24,153	82,908
東 郷 堰 地 区	33,832,002	33,576,834	255,168	99.2%	493,712	299,423	194,289
県営たらのきだい	407,705	404,306	3,399	99.2%	1,700	0	1,700
合 計	676,199,569	672,199,374	4,000,195	99.4%	49,727,819	4,841,428	44,886,391

⑤農地転用及び決済金納入状況

(単位：円)

事 業 区 分	転用面積 (ha)	納 入 額	事 業 区 分	転用面積 (ha)	納 入 額
一 般 会 計	5.15	926,383	鶴岡西部 (京田・栄)	0.10	157,356
青龍寺川地区共通	2.90	1,668,072	押 切 地 区	1.20	433,332
中 川 地 区 共 通	2.06	1,610,232	広 野 地 区	0.06	44,640
天保大川地区共通	0.14	221,923	大 泉 地 区 (共 同)	0.03	3,948
八 沢 川 地 区 共 通	0.04	52,714	大 泉 地 区 (岡 山)	0.04	5,930
県営赤川 (青龍寺川)	1.18	703,056	合 計	-	6,084,498
県営赤川 (中川)	0.55	256,912			

⑥長期借入金償還状況

(単位：円)

地 区 (会計別)	事 業 種 別	借 入 先	借 入 金	H29償還元金	元 金 残 高	償還完了年度
団体営土地改良事業費	西 荒 屋 圃 場 整 備	J A 庄 内 た が わ	86,106,728	5,007,052	15,186,997	H32年度
鶴岡西部県営圃場整備事業費	第4-1事業区(大泉西地区)	J A 鶴 岡	198,020,000	12,750,000	5,570,000	H30年度
東郷堰地区維持管理事業費	門前地区担い手育成 基盤整備事業	日本政策金融公庫	55,929,000	1,399,590	7,033,237	H36年度
広野地区事業費	広野地区農業水利施設 保全合理化事業	JA庄内みどり・JAそでうら・全土連	307,630,000	0	266,800,000	H49年度
天保大川地区 共通事業費	一 般 事 業	日本政策金融公庫	5,000,000	265,591	1,319,724	H34年度
	か ん が い 排 水	日本政策金融公庫 J A 庄 内 た が わ	206,615,864	13,034,421	56,195,976	H36年度
	計		211,615,864	13,300,012	57,515,700	
県営たらのきだい地区圃場整備事業費	たらのきだい地区農地整備事業	日本政策金融公庫	54,085,600	0	54,085,600	H49年度
合 計			913,387,192	32,456,654	406,191,534	

役員研修を実施

平成30年6月26日、東京都にて役員研修を実施し、農林水産省農村振興局より望月日本型直接支払室長を講師に迎え、「改正土地改良法」についての勉強会を行いました。また要望活動として、本区を代表して本間理事長が、磯崎農林水産副大臣へ、国営かんがい排水事業「赤川二期地区」の円滑な推進や、平成31年度の農業農村整備事業に係る十分な当初予算の確保等について、要請書を手交しました。

今回の研修の成果を、今後の土地改良区運営並びに農業農村整備事業等に反映させ、地域事業の推進に努めていきたいと思っております。



(左) 同行していただいた加藤鮎子衆議院議員
(右) 講師 望月日本型直接支払室長



改正土地改良法についての勉強会



磯崎農林水産副大臣に要請

全国土地改良大会宮城大会に参加

平成30年10月16日、「宮城県総合運動公園（グランディ21）」において、第41回全国土地改良大会（宮城大会）が開催されました。全国から過去最大規模となる約6,000名の農業農村整備事業関係者が参集し、本区からも理事長をはじめとする役職員が参加いたしました。

“先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に水土里の絆復興の歩み”をテーマとした今大会は、農業・農村の重要性と「農」や「食」、「環境」を支える基盤となる土地改良事業（農業農村整備）の価値や役割について広く国民に理解していただくとともに、東日本大震災から復興した

宮城県の農業・農村の姿を、国民、農業者、水土里ネット、行政関係者など広く全国に発信することを目的として開催されました。

式典は、宮城県土地改良事業団体連合会の伊藤会長の開会挨拶に始まり、その後全国土地改良事業団体連合会の二階会長による主催者挨拶、土地改良事業功績者表彰や基調講演、優良地区事例紹介などが行われました。そして、次期開催県である岐阜県の紹介と大会旗の引き継ぎがなされ、盛会の内に幕を閉じました。また、大会翌日は名取市閑上にて現地視察を行いました。



二階全国土地改良事業団体連合会会長



大会会場の様子



現地視察（名取市閑上）

国営農業水利事業及び関連事業に関する要請活動

下記の各協議会において農林水産省及び財務省を訪問し要請活動を行いました。今後とも関係機関と連携を深めながら予算確保に努めて参りますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

◇要請内容

- ①平成31年度の農業農村整備事業に係る十分な当初予算の確保
- ②農業農村整備事業を計画的に実施するための地元負担の軽減
- ③農事用電力料金の高止まりや自然災害等による大規模基幹的農業水利施設の維持管理費増加に係る農家負担軽減対策の充実
- ④土地改良区の組織や運営制度の見直しを盛り込んだ「改正土地改良法」の円滑な施行のための指導及び支援 など

日付	組 織	要 請 先
H30.7.11	国営農業水利事業東北協議会（本区会長）	農林水産省・財務省・県選出国会議員
H30.7.23	全国大規模農業水利事業協議会（本区副会長）	同 上
H30.10.23	全国大規模農業水利事業協議会（本区副会長）	同 上



H30.7.11 農林水産省 室本農村振興局長（現局長）と面談



H30.10.23 高鳥農林水産副大臣と面談

視 察 ・ 研 修 来 区 状 況

平成30年は7団体150名の皆様にお越しいただきました。本区では、赤川頭首工・赤川地区小水力発電所・県営圃場整備事業実施地区等の現地視察の他に、土地改良区の合併に関する研修の受け入れなども行っています。

日付	団 体 名	日付	団 体 名
H30.6.28	茨城県県北農林事務所	H30.9.6	山形県 最上川中流土地改良区
H30.7.30	鶴岡市議会新政クラブ	H30.11.7	茨城県 南筑波土地改良区
H30.8.21	茨城県 千波湖土地改良区	H30.11.19	水土里ネット福島いわき支部
H30.8.28	青森県 六羽川土地改良区		



山形県 最上川中流土地改良区の皆さん
(県営広野地区農業水利施設保全合理化事業)



水土里ネット福島いわき支部の皆さん
(赤川地区小水力発電所〈国営赤川二期農業水利事業〉)

収穫感謝祭を開催

平成30年10月12日、今年一年の農業用水の潤沢な供給と新穀の収穫に感謝する「収穫感謝祭」が開催され、東北農政局赤川農業水利事業所、山形県庄内総合支庁、鶴岡市役所をはじめとする多くの関係機関の方々よりご臨席賜りました。

代表者数名によりつきあげられた餅米（5升）は、お雑煮とお汁粉にして振る舞われました。

当日は朝から雨模様でしたが、天気は次第に回復し、お昼頃には晴れ間が広がる絶好の餅つき日和となりました。



東北農政局赤川農業水利事業所 中井所長



収穫感謝祭 会食の様子



山形県庄内総合支庁 産業経済部 本間農村整備課長

広野地区いきもの引越し作戦を実施

平成30年10月28日、県営事業により用排水路の管路化と地下かんがい等の整備が行われている酒田市広野地区において、『いきもの引越し作戦』が行われました。

広野地区では地域の自然環境や生態系に配慮した土地利用を進めていくため、地元の小学生と父兄の方々にご協力いただき、毎年この取組みを行っています。今年度も工事着工前に田んぼや水路にどんな生き物が住んでいるか、捕まえて調査し、工事を行わない近隣排水路への放流を行いました。

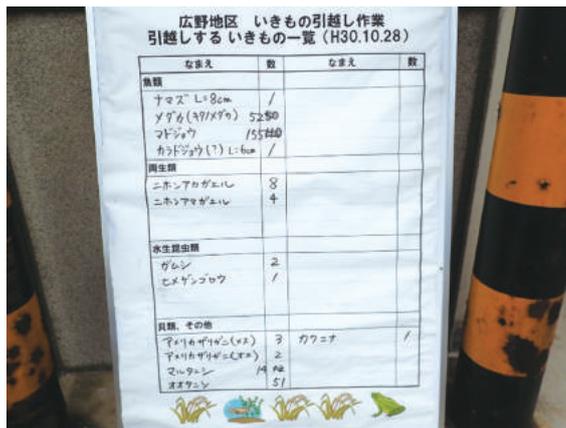
当日は小雨の降るあいにくの天候ではありましたが、メダカやゲンゴロウをはじめ、多くの生き物を捕まえることができました。また、捕まえた生き物の特徴について山形県環境アドバイザーより説明を行っていただきました。



捕まえた生き物に興味津津の子供たち



今年度も生き物の引越しが完了しました！



捕まえた生き物の一覧

お知らせ

次のような場合、土地改良区への届出が必要です!!

組合員資格得喪^{とくそう}通知書

1. 農地の賃貸借契約および解約、売買等のとき
2. 組合員が亡くなられたとき
3. 経営移譲をされたとき
4. 住所・電話番号・口座に変更があったとき

※賦課金は毎年4月1日現在の土地原簿を基準に賦課されます。期限までに届出がない場合、前組合員（前耕作者や所有者）に賦課されますので、新しい耕作者と当事者同士で精算をお願いします。

農地転用等の通知書

1. 農地を宅地等に転用する場合
2. 農地が公共用地により買収された場合

※農地転用をする場合、本区へ申請した上で決済金を納付していただきます。（公共事業買収も同様）

※農業委員会から土地改良区の意見書の提出を求められることがあります。意見書交付までにかかる期間は1週間程となっておりますので、計画的な申請をお願いします。

※4月1日以降に申請を行った場合、当該年度の賦課金は納付していただきますのでご注意ください。

◆ 土地改良区への届出の注意点 ◆

農地の権利関係に異動【耕作者・所有者の変更等】があった場合には、関係者双方の連名による届出が必要となっております。しかし、農業委員会や農協への手続きだけで、土地改良区の土地原簿も同時に修正されると思っていたという事例が多くなっております。上記機関への手続きでは土地改良区の土地原簿は修正されませんのでご注意ください。

また、農協受委託や農地中間管理事業についても本人申請による届出が原則となっておりますので、受委託が確定しましたら早めに本区まで届出をしてください。

※賃貸借契約の期間満了による解約についても届出が必要ですのでご注意ください!

※届出用紙は本区および各JA本支所・支店窓口、本区ホームページに準備しております。

※ 滞納賦課金のある農地の取扱い ※

滞納賦課金のある農地の賃貸借契約および解約、売買等により組合員が代わる場合、土地改良法の規定により**新たな組合員が滞納賦課金を継承し納付しなければなりません。事前に滞納賦課金の有無をご確認ください。**

また、滞納賦課金のある農地は中間管理機構を通して貸付希望を申請しても、内部審査により取下げとなる場合がありますのでご注意ください。

賦課金の納付について

◎賦課金の納付はお済みですか?

本年度賦課金の納期限が第1期5月31日、第2期10月31日をもって経過しております。賦課金が未納の方は早めの納付をお願いします。都合により納付ができない方は下記までご連絡ください。

※納期限まで納付いただけない場合には、年7.3%の延滞利息と過怠金（300円）が加算されます。

◎便利な口座振替をご利用ください!

【ご利用できる金融機関】

各JA本支所・支店、荘内銀行本支店・出張所
山形銀行各支店・鶴岡信用金庫本支店

※手続きは本区または各JA本支所・支店まで。

賦課金の確定申告について

本区発行の賦課金領収書で対応してください。

是認額は、本区全域において賦課金全額です。

公共事業関連の一括繰上償還分の是認加算額については関係組合員に通知いたします。

事業償還金地元負担分の 利子が軽減されます

【経営安定対策基盤整備緊急支援事業】(H32まで)

事業要件：農地利用集積率が一定割合以上増加

対象地区：団体営西荒屋

かんがい排水事業(天保大川地区)

事業要件を満たすため関係組合員皆様のご協力をお願いいたします。

総務課 会計係 お問い合わせ先 TEL 0235-22-5079

大山上池・下池がラムサール条約登録湿地10周年を迎えました

本区の農業用水としての維持管理施設である大山上池と、西郷土地改良区が管理を行う下池は、最も古い資料によると1644年以前に治山治水の水害対策と農業用水の貯水池として築造されたと伝えられており、当時から現在に至るまで、地域住民の生活と非常に密接に結びついています。

また、両池では約200種類の鳥類が確認され、冬はコハクチョウをはじめとする多くの水鳥が飛来し、渡り鳥の重要な越冬地となっております。2008年10月には国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録され、昨年10月に登録10周年を迎えました。

両池では昔から、地域の人々により農業用水の利用や漁業、蓮根の採取などが行われ、多くの人々が両池を含む周辺環境を活用していました。また、数年に一度は「土砂吐き（堀浚い）」を行い、池の水を抜き、水を入れ替えることで水質の維持が図られるなど、当時は人が池とかかわりを持つことで自然環境が維持されてきました。

しかし近年、社会環境の変化に伴い、両池と人とかかわりの希薄化が池の富栄養化等の問題を招く一因となっております。

ラムサール条約登録湿地10周年という節目を迎えた今、登録された意義や地域資源としての活用について改めて考え、両池がもつ価値や文化をこれからの世代に引き継いでいくことが大変重要であるといえます。

2018年11月10日には、大山上池・下池ラムサール条約登録湿地10周年の記念式典・シンポジウムが行われ、本区を代表して本間理事長が出席しました。地域にこのような素晴らしい環境があることに改めて感謝し、自然を守りながら安全な米作りや農業用水の確保、管理を行うことが、我々土地改良区の使命であると考えております。



庄内自然博物園構想推進協議会 櫻井会長



こどもラムサールワークショップ 活動発表

写真提供：鶴岡市

■ 業務内容

総務課 総務係 ☎0235-22-2135	<ul style="list-style-type: none"> ・総代会、理事会等に関する事 ・事務所管理に関する事 ・人事に関する事 ・選挙に関する事 ・定款、規約等の改廃に関する事 ・農地維持受託業務に関する事 ほか
総務課 会計係 ☎0235-22-5079	<ul style="list-style-type: none"> ・会計業務に関する事 ・賦課金徴収及び調定 ・農地の異動に関する事 ・決算及び財務状況に関する事 ・未収金の督促に関する事 ・農地転用に関する事 ほか

FAX : 0235-22-2185 (総務課共通)
E-mail : info@shonaiakagawa.jp

工務第一課 ☎0235-22-2477	青龍寺川地区 八沢川地区	<ul style="list-style-type: none"> ・かんがい用水取水及び調整 ・洪水被害対策及び復旧対策 ・各種土地改良事業に関する事 ・土地改良財産の他目的使用に関する事 ・水利運営協議会に関する事 ・国営事業関連の調整に関する事 ・小水力発電事業に関する事 ほか
国営施設管理室 ☎0235-53-2414 (3月末まで ☎0235-53-2790)	赤川地区 共同管理	
工務第二課 ☎0235-22-2488	中川地区 天保大川地区	

FAX : 0235-22-2434 (工務課共通)
E-mail : koumu@shonaiakagawa.jp



庄内赤川土地改良区 役員補欠選挙について

役員(理事)の欠員が生じたため、平成31年3月開催予定の「第15回通常総代会」にて第5選挙区(三川町・東郷地区)の役員(理事)補欠選挙が行われます。

選挙の期日等詳細については後日、関係市町及び本区の掲示場に公告いたします。